

**医療・健康情報サービスを  
支える“連携”**

～ 鳥取県立図書館の取り組み ～

鳥取県立図書館  
支援協力課くらし・産業支援担当  
三田祐子

**医療・健康情報サービスの  
はじまり**

- 平成18年3月  
「鳥取県立図書館の目指す図書館像」を発表  
「仕事とくらしに役立つ図書館」を宣言

課題は？

- 専門機関との連携
- 資料の充実
- 職員のスキルアップ

**連携が図書館を変える**

■ 外部委員会の設置

**メンバー**  
医療関係者(医師、看護師)、患者会、大学、行政担当者

**内容**

- ・健康・医療情報サービス事業についてのアドバイス
- ・選書や所蔵資料に対するアドバイス
- ・医療従事者に図書館を知ってもらうために
- ・県民へ図書館の活用方法を知ってもらうために

**連携より生まれた取り組み**

- **資料の充実**  
信頼できる医学情報を提供するために、  
一般書から看護師・コメディカル向け専門書へ。  
専門家が選書に協力。



**連携より生まれた取り組み**

- **闘病記文庫コーナー**  
(平成18年7月7日 ⇒ 平成27年2月リニューアル)  
「がん」「認知症」「うつ・こころの病気」「その他の病気」「小児」で分類。新しく「介護」を加える。  
(約700冊)



**連携より生まれた取り組み**

- **図書館の活用法を紹介**
  - 連携講座の開催(平成17・18年度)  
県担当課と連携。図書館で「健康情報まるごと講座」を開催。
  - 出前講座の実施(平成19年度～23年度)  
鳥取県医師会主催の講座へ「出前図書館」を実施。
  - 講師を派遣
    - 一般向け ⇒ バスファインダーを中心に
    - 看護学生向け ⇒ 専門学校の授業に
    - 看護師向け ⇒ 鳥取県看護協会の研修に



## 連携より生まれた取り組み

● **職員のスキルアップ**  
鳥取大学地域の図書館レベルアップ貢献事業

年度	内容
18年度	テーマ: 患者・家族・市民の視点に立った図書館でできる健康・医療情報の提供 講 師: 石井保志氏(健康情報プロジェクト代表)
19年度	テーマ: まず図書館へ行ってみよう! 患者・市民が求める医療情報サービス~京都府病院図書館の一般公開から~ 講 師: 山室真知子氏(元 京都府病院図書館室主任司書)
20年度	テーマ: 医療健康情報提供のスキルアップ講座 講 師: 辰巳公一氏(岡山図書館)、市川美智子氏(愛知医科大学医学情報センター)、野沢敦(鳥取県立図書館)
21年度	テーマ: 医療健康情報提供のスキルアップ講座2 講 師: 和田らひろ氏(しいなステーション)、藤米洋一氏・河崎和穂氏(鳥取県立厚生病院)
26年度	テーマ: 「看護・医療健康情報と図書館の利用」~看護師、図書館員のための読書講座~ 『医療・健康情報と図書館の利用~図書館は皆様のお手伝いさせていただきます~』 講 師: 市川美智子氏(愛知医科大学医学情報センター)、道上克哉氏(鳥取大学医学部教授) 他

## 司書のスキルが試される レファレンス

- 家族のアスペルガーについて、相談先を知りたい。
- フレミングS(ヒドロキシコバラミン)と、メチコパール(メコバラミン)という薬の特徴と副作用を知りたい。
- インプラントについて分かりやすく書かれている本がみたい。
- 骨髄増殖性疾患について調べたい。
- 介護における転倒や転落対策を知りたい。
- 視力が低下した高齢者を自宅で介護する際に参考となる資料がみたい。
- 退院指導についての資料を借りたい。
- 医療制度改革と看護制度の関係について書かれた資料が見たい。
- 肺炎症性偽腫瘍について調べたい。

## 市町村図書館への拡がり

11市町村(19市町村中)へ

(平成18年度) 倉吉市立図書館(調剤文庫)、南部町立図書館(調剤文庫)  
 (平成19年度) 米子市立図書館(健康情報)、日野町図書館(医療・健康情報)  
 (平成20年度) 町立みさき図書館(調剤文庫)、琴浦町図書館(調剤文庫)、  
 大山町立図書館(調剤文庫)、谷管町立港口図書館(医療・健康情報)  
 (平成21年度) 鳥取市立中央図書館(医療・健康情報コーナー)  
 (平成22年度) 北栄町図書館(調剤文庫・百歳文庫)  
 (平成23年度) 日吉津村中央公民館(医療・健康情報)

※鳥取大学医学部と連携し講座を開催、町立病院主催の健康講座へ出前するなど、各地で独自の取り組みがスタートしている。  
 (市町村立図書館実務担当者会で情報交換)

## 病院図書館に司書配置

県立病院の貸出冊数は年間約3000冊。

- 平成19年度 県立厚生病院
- 平成23年度 県立中央病院
- 平成25年度 鳥取市立病院(鳥取市立図書館の分館として)

★病院図書館をサポート!

- 鳥取県立図書館の本を届ける
- 資料相談(レファレンス)
- 研修の案内



## ステップアップを目指して

■ **医療情報サービス担当者連絡会議**

**メンバー**  
病院、市町村図書館(鳥取市、倉吉市)、県立図書館

**情報交換**

- お互いの活動を知る
- 病院図書館の利用促進を考える
- 協力体制を確認する



## ステップアップを目指して

- 鳥取県立中央病院 公開講座**  
テーマ: 肝炎治療および肝・胆・膵の外科治療について  
100名を超える参加者あり
- 医師による医学書の評価**  
鳥取県立中央病院の図書委員の医師を中心に  
＜評価のポイント＞  
・信頼できる著者、出版社か?  
・対象は一般、コメディカル、医師か?  
・一般的な治療法を知ることができるか? など

## 県立図書館としての任務

- **市町村図書館へモデルを示すこと**

市町村図書館との連携事業「いきいきリレー講演会」  
県内4か所で開催

- ◎ **サービスの定着のために**

- ・会場となる市町村図書館内に講演会のテーマに沿った図書展示コーナーを設置。
- ・広報や当日の運営も協力して実施。

13

## 連携の継続には努力が必要

★目標★

- 「県内に網の目のような連携体制をつくること」
- 「情報のハブとしての図書館」

住民一人一人の幸せのために何ができるか？



ご清聴ありがとうございました



鳥取県立図書館 支援協力課  
くらし・産業支援担当  
三田 祐子